



【プレス・リリース】

ドイツ証券会社東京支店、
発行額 1,500 億円の政府保証付き預金保険機構債のブックランナーを務める

【2002年5月10日、東京】 ドイツ証券会社東京支店（所在地：東京都千代田区、支店長：ジョン・T・マクファーレン）は、預金保険機構による総額 1,500 億円の政府保証債の共同主幹事・ブックランナーを務め、同債券を成功裡にローンチした旨を発表しました。預金保険機構は新年度に入り 3 回債券を発行していますが、ドイツ証券は何れにおいても共同主幹事として引き受けに参加しております。

この度、預金保険機構が発行した債券は、政府保証第 39 回債券で、発行価格 99 円 92 銭（額面 100 円）、表面利率年 0.30% で、期限は 4 年となっています。払い込み期日は 2002 年 5 月 28 日です。

この度の起債のブックランナーを務めたドイツ証券会社東京支店の児玉哲哉債券資本市場部長は、「この度、預金保険機構による 4 年物の政府保証債券発行を支援でき、大変光栄に思います。機関投資家の需要を慎重に図ることで、円滑に販売することができました」とし、さらに「ドイツ証券では、国内外の発行体の資金調達ニーズを満たすだけでなく、日本の投資家サイドの運用ニーズにも十分にこたえていく体制を、引き続き強化していきたいと考えています」と述べています。

以上

ドイツ銀行グループは、約 9 千 500 億ユーロにのぼる資産と 9 万 2,500 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 75 カ国で顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、資産運用、資金調達、投資銀行、カストディ、キャッシュ・マネジメント、プライベート・バンキングの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。ドイツ銀行グループでは、顧客重視の姿勢を一貫し、また顧客サービスをより強化するため、組織を「投資銀行部門（CIB）」と「個人顧客および資産運用部門（PCAM）」の 2 つに集約しています。当グループでは、顧客重視、革新性、高い専門能力に裏付けられた幅広い商品およびサービス、強固な財務基盤こそが成功の鍵となるという考えのもと、グローバルな規模でビジネスを展開しています。

日本においては約 1,350 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店、ドイツ銀行在日支店、投資顧問子会社等を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>
コーポレート・コミュニケーションズ
安立 聖子
電話: (03) 5156-7705